

02. » 東邦工業 株式会社

金型専門の技術職から一転 会社経営と工場管理においてさまざまな支援を活用

自社の現状を理解し
より効率的に
工場を運営していく



代表取締役社長 二宮 裕人

東邦工業 株式会社
〒017-0204
鹿角郡小坂町荒谷字三ツ森61-5
TEL:0186-29-3677
FAX:0186-29-5792



自社の現状を把握し、センターに相談

小坂町で金型設計、プラスチック成型、塗装、印刷、組立の一貫生産を行う東邦工業株式会社。創業は昭和53年であり、先代が東京都稻城市で立ち上げ、昭和61年に秋田工場を設立した。もともとはプラスチック成型が主な加工内容だったが、クライアントからの要望に応えるため事業内容を増やし、プラスチック成型のための金型も自社で作るようになった。

代表取締役社長である二宮裕人さんは平成8年に入社。以来、金型専門の技術者として会社に貢献してきた。先代の引退により平成26年に社長に就任、会社経営と工場の管理を行うことになった。経理担当として二宮さんをサポートする妻の早百合さんも、それまで経理の経験はなく、税理士からのサポートを受けながら学ぶことに必死だったと振り返る。少しずつ自社の現状を理解したことで、より効率的に工場を運営し、生産性を上げたいと感じ、センターの生産性向上支援事業の活用に至った。



さまざまな加工を行う工場内。エリアごとに動線が確保されている。



作業する人たちがスムーズに製造できるよう、資材や材料の場所を決め、種類ごとに整理されている。



プラスチック成型を行う設備が並ぶ。
支援を通じてメンテナンスや清掃も行いやすいよう整備された。

交代制勤務の重なり時間を調整し、効率化を図る

長年使用している工場内には不要なものが置かれたままの場所があり、工程を踏まえた動線が確保されていないなどの問題があったが、要・不要を精査して分別し、工場内の整理、レイアウト変更を実施した。モノの住所を決め、物を探すロスを減らすための取組だ。現在は、生産工程を再度見直し、機械を停める時間をなくすために3交替制の勤務時間変更するなど、より効率的な生産体制づくりを実践中だ。

業界を知る第三者からの視点や助言により、自社の強みや弱みに改めて気付けることが多いと話す二宮夫妻。金型設計から成形品加工までの一貫生産が最大の強みだ。以前は大口受注に依存していたが、今は少しずつ分散を図っており、強みを生かして新規取引先を増やしたいと意気込みを見せる。そのためにも、モノの管理ができる人材を獲得していくたいと今後の展望を語ってくれた。